



報道機関 各位

資料提供 令和7年7月15日(火)
健康福祉部 保健・疾病対策課 健康危機管理チーム
担当者 石井
TEL 018-860-1425
美の国あきたネット掲載 有 ・ 無

重症熱性血小板減少症候群患者の発生について（注意喚起）

令和7年7月11日、由利本荘保健所管内の医療機関から、本県で初となる重症熱性血小板減少症候群(SFTS)患者の発生届出がありました。

全国的に感染者が増加している状況にありますので、県民への注意喚起に協力をお願いします。

□ 患者の概要

住 所 地： 由利本荘保健所管内
年代・性別： 70歳代・女性
感染経路： 不明（感染が考えられる期間に、他県での行動歴あり）
症 状： 発熱、頭痛、食欲不振、血小板減少、神経症状、出血傾向
発病年月日： 令和7年6月29日
初診年月日： 令和7年7月3日
診断年月日： 令和7年7月11日

【県民の皆様へ】

重症熱性血小板減少症候群の予防のために、次のことに気をつけましょう。

○重症熱性血小板減少症候群(SFTS)とは

SFTSウイルスを持ったマダニに刺されることにより感染するダニ媒介感染症です。マダニは草むら・やぶなどに多く生息し、春から秋(3~11月)にかけて活動が活発になります。SFTSを発症している動物(犬や猫等)に咬まれたり、血液などの体液に直接接触することで感染することがあります。

○ 症状

SFTSはウイルスを持ったマダニに刺された6日~14日後に発症します。主な症状は、発熱、消化器症状(嘔気、嘔吐、腹痛、下痢、下血)で、時に筋肉痛、神経症状、リンパ節腫脹、出血症状などを伴います。

SFTSに感染した場合には重症化しやすいことから、発症後速やかに診断する必要があります。

疑わしい症状が出た場合は早めに医療機関を受診し、発症前の生活(草むら・やぶ等に出かけた、動物との接触があったことなど)を医師に伝えてください。

○ 予防法

- ① 草むら・やぶ等に行く前に長袖、長ズボンを着用し、サンダルのような肌を露出するようなものは履かない。
- ② 草むら・やぶ等からの帰宅後に、
 - ・速やかに入浴し、念入りに身体を洗い流す。
 - ・脱衣後の衣類は室内に持ち込まない、又はすぐに洗濯をする。
- ③ 犬や猫などの動物を飼育している場合は、散歩中草むらややぶに入らないこと、帰宅後は体のすみずみを確認すること、マダニ予防薬の投与を定期的に行うなど、しっかりと対策をしてください。